

# 2024年度第1四半期決算の概要及び 2024年度上期業績予想の概要

三井化学株式会社

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2024年8月6日

## ■ 第1四半期決算

- ✓ 前年に比べ売上収益は増収、各利益項目も増益。
- ✓ 成長領域は、販売数量が回復に加え、為替を中心に交易条件が改善し増益。
- ✓ B&GMは、値上げ及び事業構造改善の着実な実行に加え、在庫評価益により増益。

## ■ 業績予想に関する考え方

- ✓ 6月から定修を実施していた大阪エチレンプラントの蒸気系で不具合が発生し、補修が必要となった為、運転再開には2～3か月かかる見通し。
  - 現時点での損失影響額を見積もるのは困難であるため、業績予想には織り込まない
  - 業績に重大な影響が見込まれる場合には速やかに情報開示を行う
- ✓ 上期業績予想については、以下のとおり。
  - 売上収益： 為替、国産ナフサ等の諸元変動を織り込む
  - コア営業利益： 成長領域は、為替による増益はあるものの、一部市場の回復遅れを織り込む  
B&GMは、上記の状況を踏まえ5月発表値を見直さない
- ✓ 通期予想については見直していないが、第2四半期決算時点にて適宜見直しを実施。
- ✓ 配当予想については、中間75円/株、年間150円/株の変更はなし。

# 目次

1. 2024年度第1四半期決算の概要	
1) 主要関連市場動向	…1
2) 主な投資案件等の状況	…2
3) 第1四半期決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減（対前年同期）	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年同期）	…6-9
6) 非経常項目の内訳	…10
7) 財政状態計算書	…11
8) キャッシュ・フロー計算書	…12
2. 2024年度上期業績予想の概要	
1) 上期業績予想の概要	…13-15
2) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減（対前年同期）	…16
3) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年同期）	…17-20
4) セグメント別 コア営業利益増減（1Q→2Q）	…21
5) キャッシュ・フロー計算書の予想	…22
3. 補助資料	…23-28

# 1. 2024年度第1四半期決算の概要

24年度より、本州化学工業(株)他、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社の帰属セグメントを見直しております。23年度のセグメントも、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

# 1) 主要関連市場動向

関連市場		24年度			24年度上期予想 (対23年度上期比較)		
		1Q	2Q	24.1Q→ 24.2Q			
ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	メガネレンズ市場	堅調に推移	堅調に推移	➡	堅調に推移	➡	
	農薬市場	一部在庫調整はあるも 堅調に推移	一部在庫調整はあるも 堅調に推移	➡	堅調に推移	➡	
モビリティ ソリューション	自動車生産台数(世界) *				➡	➡	
	日本 北米 中国 ASEAN 欧州	日本・ASEANで減産はあるも グローバルな生産台数に 大きな変化なし	日本は増産となるも グローバルな生産台数に 大きな変化なし	➡	地域ごとの増減はあるも、 グローバルな生産台数に 大きな変化なし	➡	
				➡		➡	
				➡		➡	
				➡		➡	
			⬇				
ICT ソリューション	半導体市場	需要は緩やかな回復傾向	需要は緩やかな回復傾向	➡	需要は緩やかに回復	➡	
	スマートフォン市場	需要は緩やかな回復傾向	需要は緩やかな回復傾向	➡	需要は緩やかに回復	➡	
ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	市況	TDI	市況は低水準	市況は低水準	➡	変化なし	➡
		MDI	市況は安定的に推移	市況は安定的に推移	➡	変化なし	➡
	クラッカー稼働率	低稼働	低稼働	➡	低稼働継続	➡	

\* 外部機関参考による当社推定値

## 2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY22	FY23	FY24	FY25以降
ライフ & ハルスケア・ソリューション	メガネレンズ加工機メーカー買収	22年11月	-				
	不織布事業JV設立@Japan	23年10月	-				
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	24年1月	-				
モビリティソリューション	タフマー®新設@Singapore	24年度	120KT				
ICTソリューション	アベル®新プラント@Japan	22年6月	+50%				
	ペリクル事業買収	23年7月	-				
	イクロステップ™能力増強@Taiwan	24年6月	380万㎡				
	三井化学東セロの株式分割及び一部株式譲渡	24年4月	-				
	ポリウレタンディスパージョン(PUD)能力増強@Japan	25年6月	+100%				
	特殊イソシアネートXDI能力増強@Japan	25年9月	+20%				
	次世代EUV露光用CNTペリクル生産設備@Japan	25年12月	5千枚				
	半導体実装領域における材料開発強化に向けた出資	24年度	-				
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年7月	200KT				
	高機能PP新設備@Japan	24年度	200KT				
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月	-				
	PPG生産におけるLLP設立	23年5月	-				
新事業・新製品	CVC設立	22年7月	-				

最適化・再構築	高純度テフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT				生産停止
	ポリエチレンテフタレート(PET)の生産停止@Japan	24年10月	145KT				生産停止
	TDI生産能力最適化@Japan	25年7月	120KT→50KT				生産能力最適化
	市原フェノールの生産停止@Japan	26年度	190KT				生産停止
	千葉地区エチレン装置集約による生産最適化の検討開始	27年度	-				検討開始 生産最適化
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月	-				株式譲渡
	モビリティセグメント子会社株式譲渡@Japan(産業資材)	25年4月	-				株式譲渡

### 3-1) 第1四半期決算の概要

(単位：億円)

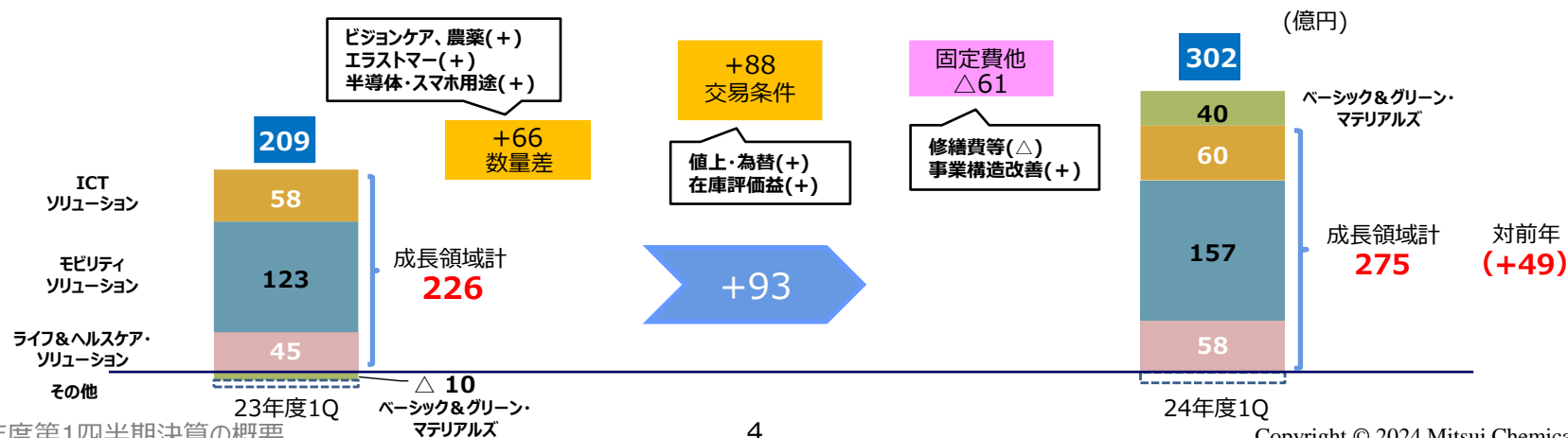
摘 要	23年度 4-6月	24年度 4-6月	増減	増減率
売上収益	4,079	4,495	416	10%
コア営業利益	209	302	93	44%
(うち、持分法による投資損益)	32	36	4	-
非経常項目	△ 70	△ 30	40	-
営業利益	139	272	133	96%
金融収益・費用	3	21	18	-
税引前四半期利益	142	293	151	107%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	96	179	83	87%

為替レート(円/US\$) 137 156 + 19

国産ナフサ(円/KL) 67,500 79,000 + 11,500

### 3-2) 第1四半期決算の概要：コア営業利益（対前年同期）

項目	内容	損益増減
数量	・ビジョンケアは23年度在庫調整影響の解消により販売数量は増加。	(+)
	・農薬は海外での販売数量が増加。	(+)
	・自動車用途を中心にエラストマーの販売数量は増加。	(+)
	・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の回復により販売数量は増加。	(+)
交易条件	・値上げ及び為替影響により交易条件は改善。	(+)
	・原料価格上昇に伴う在庫評価益。	(+)
固定費他	・人件費・資材費高騰により修繕費、物流費、保管料等のコストは増加。	(△)
	・事業構造改善による収益改善。	(+)





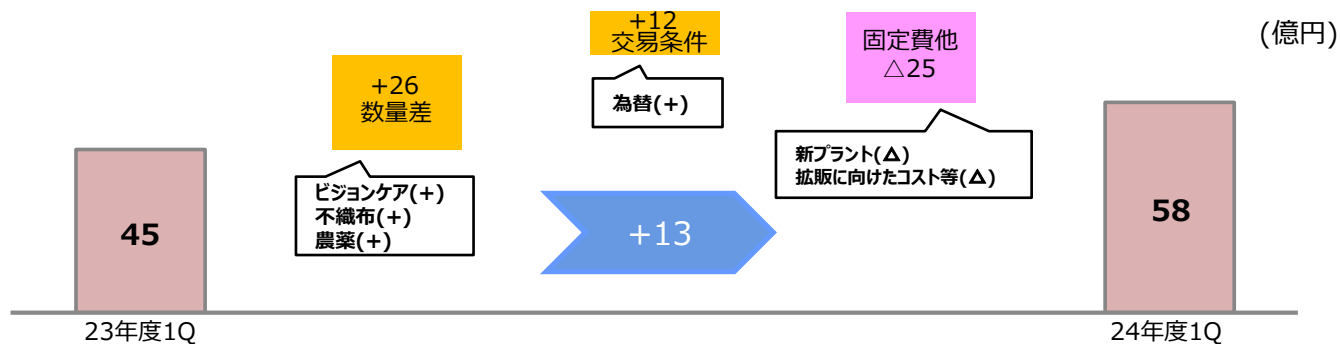
## 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年同期)

(単位：億円)

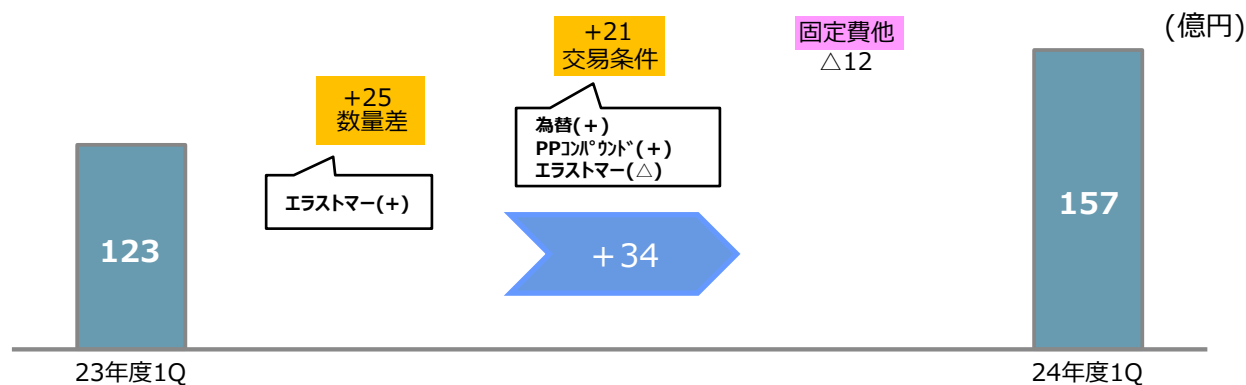
セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	23年度 4-6月	24年度 4-6月	増減	23年度 4-6月	24年度 4-6月	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	571	675	104	45	58	13	26	12	△ 25
モビリティソリューション	1,274	1,439	165	123	157	34	25	21	△ 12
ICTソリューション	630	538	△ 92	58	60	2	10	11	△ 19
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,566	1,808	242	△ 10	40	50	5	44	1
その他	38	35	△ 3	△ 7	△ 13	△ 6	-	-	△ 6
合計	4,079	4,495	416	209	302	93	66	88	△ 61
成長領域*	2,475	2,652	177	226	275	49			

\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT

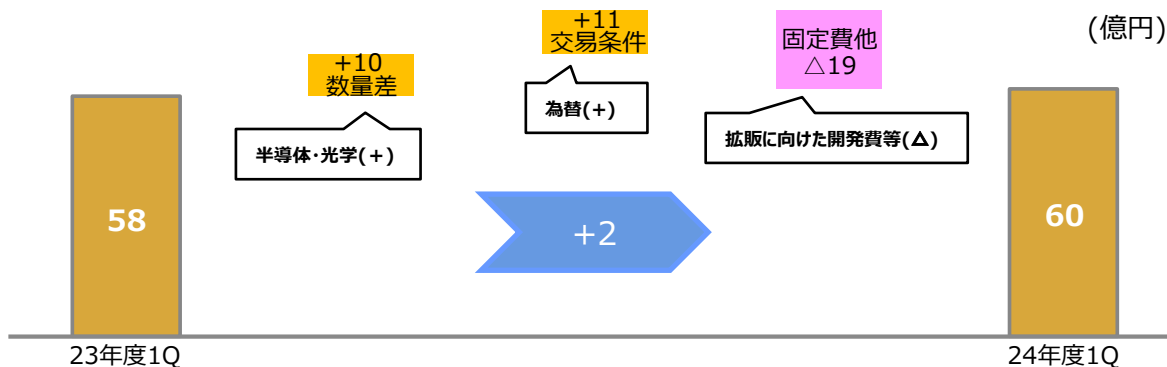
	24年度第1四半期決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度に在庫調整影響の解消による販売数量増加</li> <li>・新プラント稼働による固定費増加(MR™)</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業統合による販売数量増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は前年並みに推移</li> </ul>	-
農薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部地域で在庫調整の動きが残るものの、販売は堅調に推移</li> <li>・為替差による取引条件改善</li> <li>・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費が増加</li> </ul>	数量(+) 取引条件(+) 固定費(Δ)



	24年度第1四半期決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途を中心に販売数量増加</li> <li>為替差による交易条件改善</li> <li>一時的な需給緩和に伴う交易条件悪化</li> <li>拡販に向けたコスト等が増加</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 交易条件(△) 固定費(△)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途関連の販売は前年並みに推移</li> <li>価格改定及び為替差による交易条件改善</li> </ul>	為替(+) 交易条件(+) -
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は前年度並みに推移</li> </ul>	-

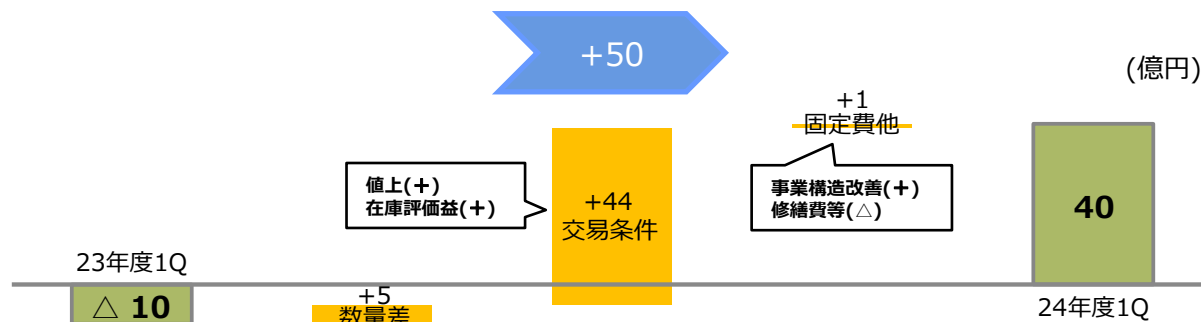


	24年度第1四半期決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体及びスマートフォン市場の回復による販売数量増加</li> <li>為替差による交易条件改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は前年並みに推移</li> <li>為替差による交易条件改善</li> </ul>	交易条件(+)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は前年並みに推移</li> <li>為替差による交易条件改善</li> </ul>	交易条件(+)



# 5-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度第1四半期決算/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げによる取引条件改善</li> <li>・原料価格上昇に伴う在庫評価益</li> </ul>	取引条件(+) 在庫(+) 
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げによる取引条件改善</li> <li>・原料価格上昇に伴う在庫評価益</li> <li>・事業構造改善による収益改善</li> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	取引条件(+) 在庫(+) 構造改善(+) 固定費(Δ) 
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	固定費(Δ) 



## 6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	23年度 4-6月	24年度 4-6月	増減
固定資産処分・売却損益	0	△ 1	△ 1
減 損 損 失	△ 92	△ 31	61
そ の 他	22	2	△ 20
非経常項目 合計	△ 70	△ 30	40

# 7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	24年3月末	24年6月末	増減	摘 要	24年3月末	24年6月末	増減
流動資産	( 11,506 )	( 11,311 )	( △ 195 )	負債	( 12,310 )	( 12,096 )	( △ 214 )
現金及び 現金同等物	2,103	2,235	132	営業債務	1,799	1,734	△ 65
営業債権	3,659	3,611	△ 48	有利子負債	8,115	8,228	113
棚卸資産	4,511	4,573	62	その他	2,396	2,134	△ 262
その他	1,233	892	△ 341	資本	( 9,848 )	( 10,082 )	( 234 )
非流動資産	( 10,652 )	( 10,867 )	( 215 )	親会社の所有者に 帰属する持分	8,629	8,852	223
有形固定資産及び 使用権資産	6,521	6,540	19	非支配持分	1,219	1,230	11
のれん及び 無形資産	764	783	19				
非流動の その他の資産	3,367	3,544	177				
合 計	22,158	22,178	20	合 計	22,158	22,178	20

## 8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	23年度 4-6月	24年度 4-6月	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	△ 117	398	515
(うち運転資金)	△ 172	50	222
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	99	△ 239	△ 338
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 18	159	177
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 230	△ 111	119
IV. その他	75	84	9
現金及び現金同等物増減	△ 173	132	305



## 2. 2024年度上期業績予想の概要

- ・大阪エチレンプラントの運転再開には2～3か月かかる見通しであり、現時点での損失影響額を見積もるのは困難であるため、上期業績予想には織り込んでおりません。
- ・上記の状況を踏まえ、B&GMについては5月発表値を見直しておりません。
- ・24年度より、本州化学工業(株)他、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社の帰属セグメントを見直しております。23年度のセグメントも、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

# 1 - 1) 上期業績予想の概要 (対前年同期)

(単位：億円)

摘要	23年度	24年度予想	増減		24年度前回予想 (24.5.15発表)
	上期(a)	上期(b)	上期 (b)-(a)	%	上期
売上収益	8,237	9,100	863	10%	8,900
コア営業利益	420	520	100	24%	520
非経常項目	△ 108	△ 60	48	-	△ 60
営業利益	312	460	148	47%	460
金融収益・費用	18	△ 30	△ 48	-	△ 30
税引前中間利益	330	430	100	30%	430
親会社の所有者に帰属する 中間利益	207	290	83	40%	290
	為替レート(円/US\$)	141	156	+ 15	145
	国産ナフサ(円/KL)	65,550	79,000	+ 13,450	75,000
	中間	中間	増減		中間
配当	70 円/株	75 円/株	+5円/株		75 円/株

# 1 - 2) 上期業績予想の概要 セグメント別 コア営業利益増減 (対前回予想)

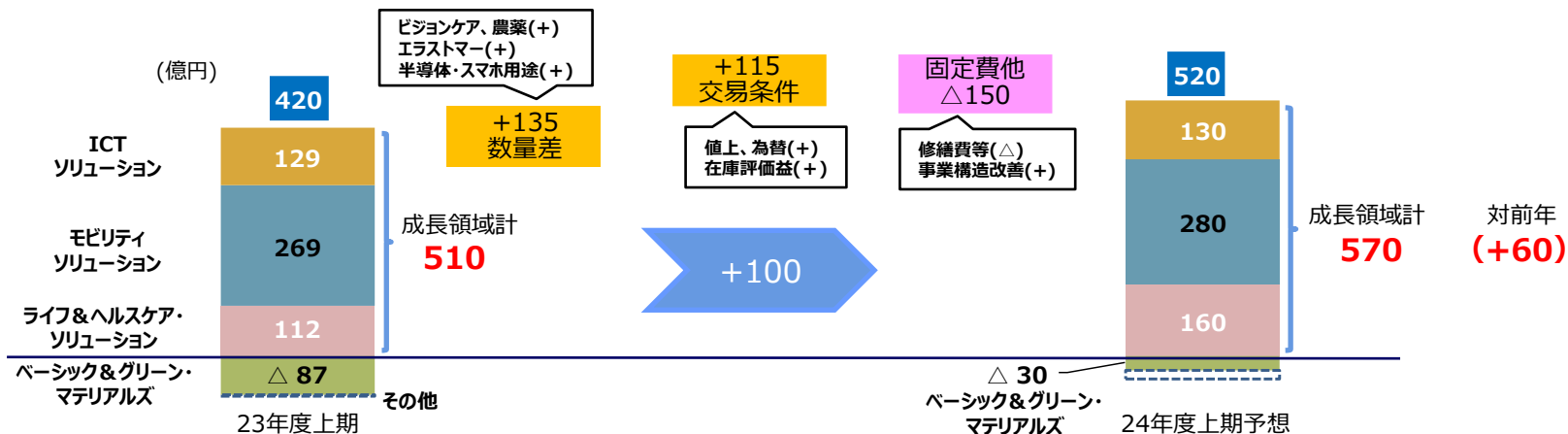
(単位：億円)

セグメント	24年度 コア営業利益			主要増減要因
	上期 前回予想 (24.5.15発表)	上期 今回予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	160	160	0	数量(Δ) 農薬：上期から下期へ出荷時期変更 交易条件(+) 為替差
モビリティ ソリューション	280	280	0	数量(Δ) 太陽電池封止材用途の在庫調整影響 交易条件(+) 為替差
I C T ソリューション	130	130	0	数量(Δ) 半導体関連回復遅れ 交易条件(+) 為替差
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	△ 30	△ 30	0	-
そ の 他	△ 20	△ 20	0	
合 計	520	520	0	
成 長 領 域 *	570	570	0	

為替レート(円/US\$)	145	156	+ 11
国産ナフサ(円/KL)	75,000	79,000	+ 4,000

# 1 - 3) 上期業績予想の概要：コア営業利益（対前年同期）

項目	内容	損益増減
数量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョンケアは23年度在庫調整影響の解消による販売数量増加を見込む。</li> <li>・農薬は海外での販売数量増加を見込む。</li> <li>・自動車用途を中心にエラストマーの販売数量増加を見込む。</li> <li>・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の回復により販売数量増加見込む。</li> </ul>	(+) (+) (+) (+)
交易条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げ及び為替差による交易条件の改善を見込む。</li> <li>・一時的な需給緩和に伴う交易条件悪化を見込む。</li> <li>・原料価格上昇に伴う在庫評価益を見込む。</li> </ul>	(+) (△) (+)
固定費他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費、研究開発等の資源投入でコスト増加を見込む。</li> <li>・事業構造改善による収益改善を見込む。</li> </ul>	(△) (+)



## 2) セグメント別 売上収益/コア営業利益予想 (対前年同期)

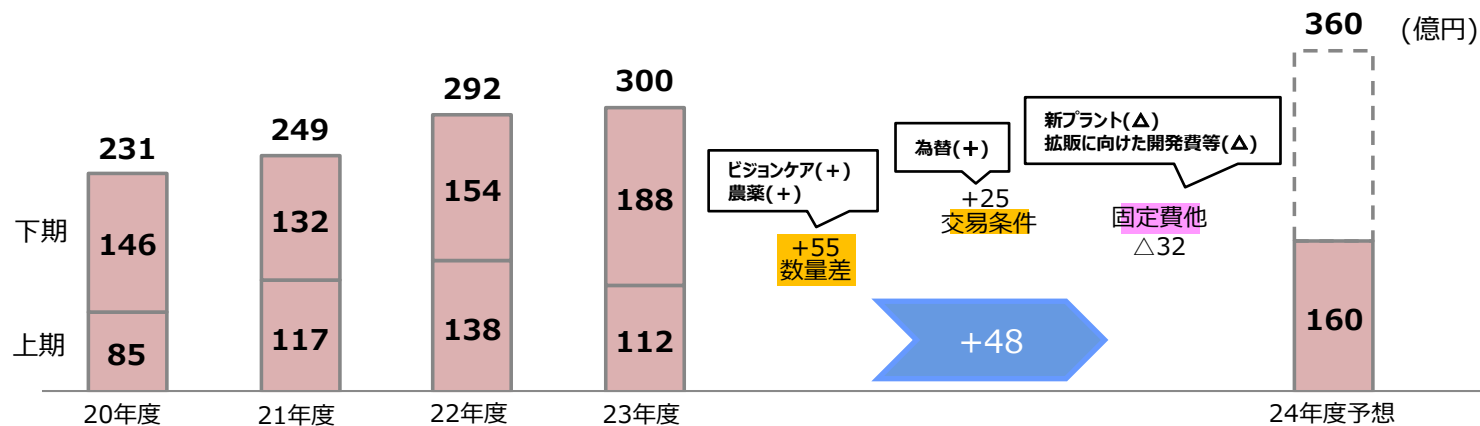
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	23年度	24年度予想	増減	23年度	24年度予想	増減	数量差	交易条件	固定費他
	4-9月	4-9月		4-9月	4-9月				
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	1,191	1,410	219	112	160	48	55	25	△ 32
モビリティソリューション	2,613	2,970	357	269	280	11	55	△ 35	△ 9
ICTソリューション	1,249	1,100	△ 149	129	130	1	20	20	△ 39
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	3,106	3,550	444	△ 87	△ 30	57	5	105	△ 53
その他	78	70	△ 8	△ 3	△ 20	△ 17	-	-	△ 17
合計	8,237	9,100	863	420	520	100	135	115	△ 150
成長領域*	5,053	5,480	427	510	570	60			

\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT

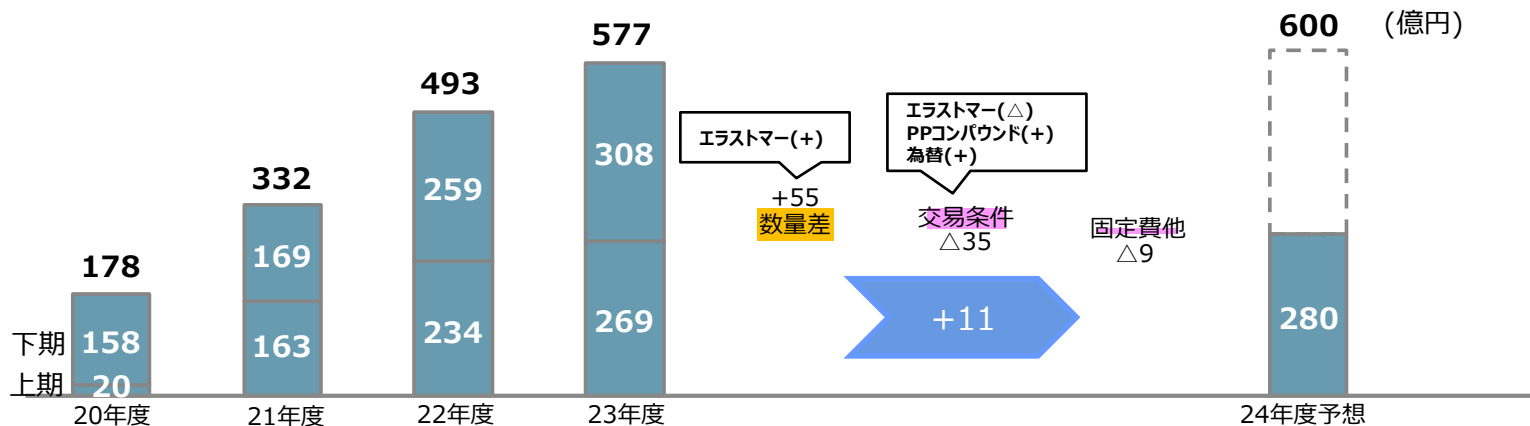
### 3-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度上期予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度在庫調整の解消による販売数量増加</li> <li>・新プラント稼働による固定費増加(MR™)</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業統合による販売数量増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は前年並みに推移</li> </ul>	-
農薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部地域で在庫調整の動きが残るものの、販売は堅調に推移</li> <li>・為替差による交易条件改善</li> <li>・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費増加</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(△)

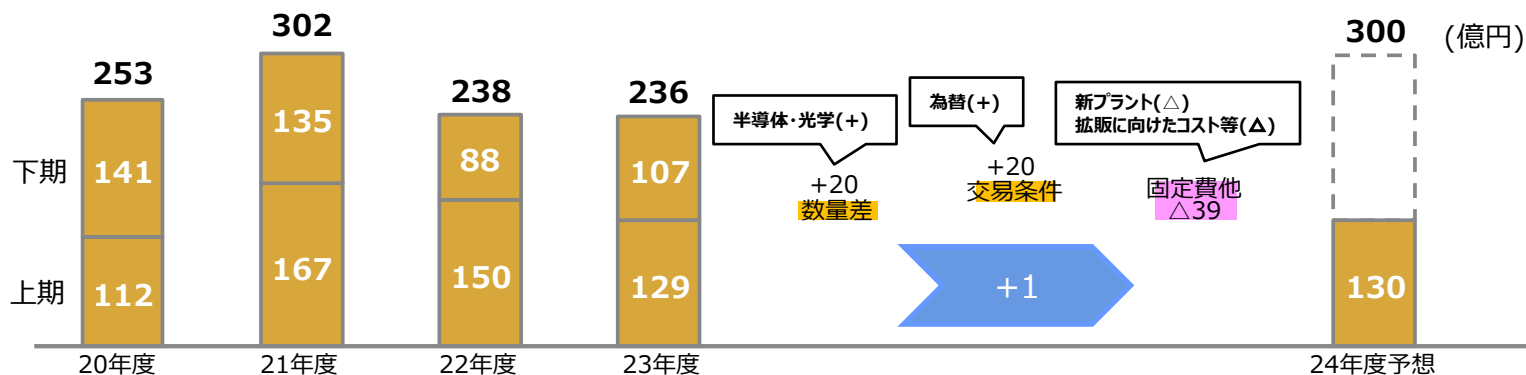


### 3-2) モビリティ・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度上期予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途を中心に販売数量増加</li> <li>為替差による交易条件改善</li> <li>一時的な需給緩和に伴う交易条件悪化</li> </ul>	数量(+) 為替(+) 交易条件(Δ) 固定費(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途関連の販売は前年並みに推移</li> <li>価格改定及び為替差による交易条件改善</li> </ul>	為替(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
ソリューション事業	販売は前年並みに推移	-



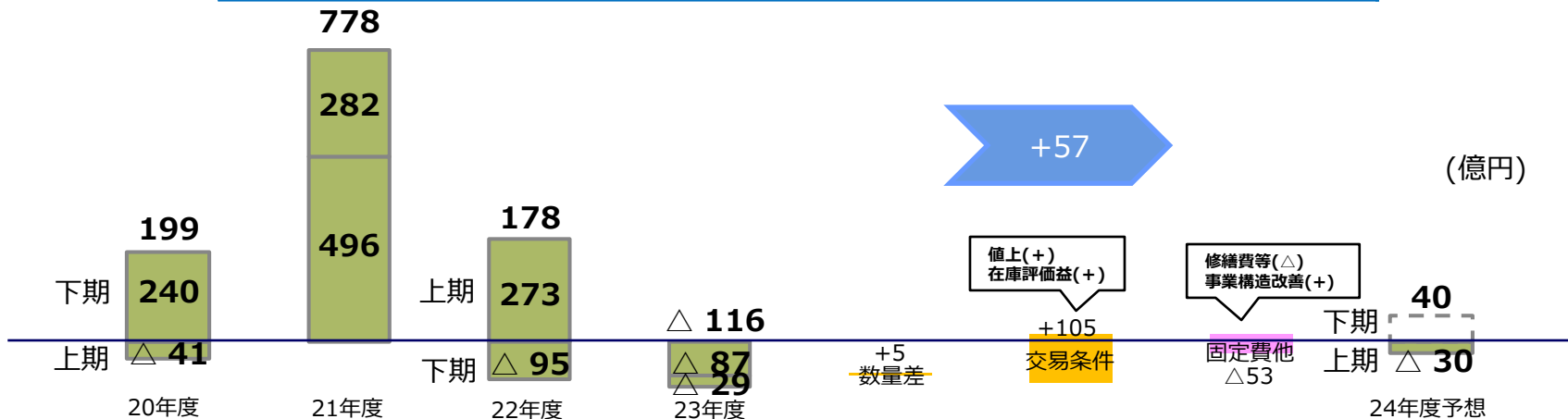
	24年度上期予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体及びスマートフォン市場の回復による販売数量増加</li> <li>為替差による交易条件改善</li> <li>拡販に向けたコスト等が増加</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は堅調に推移</li> <li>為替差による交易条件改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>為替差による交易条件改善</li> <li>新プラント稼働により固定費増加(イクロステープ™)</li> </ul>	交易条件(+) 固定費(Δ)





# 3-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ: コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度上期予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げによる交易条件改善</li> <li>・原料価格上昇に伴う在庫評価益</li> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	交易条件(+) 在庫(+) 固定費(△)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値上げによる交易条件改善</li> <li>・原料価格上昇に伴う在庫評価益</li> <li>・事業構造改善による収益改善</li> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	交易条件(+) 在庫(+) 構造改善(+) 固定費(△)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇</li> </ul>	固定費(△)



## 4) セグメント別 コア営業利益増減 (1Q→2Q)

(単位：億円)

セグメント	24年度 コア営業利益			主要増減要因
	4-6月	7-9月 予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	58	102	44	数量(+) 農薬
モビリティ ソリューション	157	123	△ 34	交易条件(△) PPコンパウンド 固定費(△) 修繕費等
ICT ソリューション	60	70	10	数量(+) 半導体・スマートフォン関連 固定費(△) 新プラント
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	40	△ 70	△ 110	在庫(△) 固定費(△) 修繕費等
その他	△ 13	△ 7	6	
合計	302	218	△ 84	
成長領域*	275	295	20	

\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT

## 5) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘 要	23年度	24年度予想	増減
	上期	上期	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	858	560	△ 298
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 355	△ 700	△ 345
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	503	△ 140	△ 643
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 452	180	632
IV. その他	112	0	△ 112
現金及び現金同等物増減	163	40	△ 123

## 3. 補助資料

---

- 1) 製品価格の状況
- 2) 売上収益の増減概要
- 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) セグメント情報
- 5) データハイライト

# 1) 製品価格の状況

(P E国内、P P国内、P H国内、B P A国内：国内価格改定幅)

年		2021年		2022年				2023年				2024年	
月		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
国産標準 ナリ価格	(円/KL)	53,500	60,700	64,600	86,100	81,400	72,500	66,500	67,500	63,600	72,800	72,500	79,000
P E国内	(円/KG)	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度	△3円 程度	+22円 程度
P P国内	(円/KG)	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度	△3円 程度	+22円 程度
P H国内 (フォーミル価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
B Z (* A C P)	(\$/T)	\$1,030	\$970	\$1,030	\$1,230	\$1,120	\$880	\$930	\$940	\$870	\$950	\$995	\$1,085
B P A国内	(円/KG)	+35円 (9月~)	→	+20円 (3月~)	+32円(4月~) +38円(6月~)	→	△14円 (12月~)	△17円 (3月~)	+16円 (6月~)	→	→	→	+19円 (6月~)
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$/T)	\$3,320	\$2,480	\$2,340	\$2,060	\$1,580	\$1,450	\$1,300	\$1,250	\$1,260	\$1,280	\$1,260	\$1,310
P T A 中国市況	(\$/T)	\$710	\$700	\$830	\$950	\$840	\$760	\$780	\$800	\$790	\$750	\$770	\$770
P X (* A C P)	(\$/T)	\$920	\$890	\$1,090	\$1,260	\$1,090	\$980	\$1,030	\$1,030	\$1,070	\$1,010	\$1,030	\$1,040
T D I 中国市況	(\$/T)	\$1,900	\$2,200	\$2,610	\$2,770	\$2,320	\$2,410	\$2,430	\$2,190	\$2,060	\$1,950	\$1,920	\$1,950

\* ACP アジア圏契約価格

## 2) 売上収益の増減概要

(単位：億円)

セグメント	売上収益			増減内訳		主要増減要因
	23年度 4-6月	24年度 4-6月	増減	数量差	価格差	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	571	675	104	83	21	数量) ビジョンケア及び農薬の販売は堅調 価格) 為替影響等
モビリティソリューション	1,274	1,439	165	80	85	数量) エラストマーの販売は堅調 価格) 為替影響等
ICTソリューション	630	538	△ 92	△ 111	19	数量) 三井化学東セロ株式会社分割及び一部株式譲渡の影響 価格) 為替差影響等
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	1,566	1,808	242	17	225	価格) 値上げ及び原料価格上昇による価格改定
その他	38	35	△ 3	-	△ 3	
合計	4,079	4,495	416	69	347	
成長領域*	2,475	2,652	177			

\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT

### 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)



セグメント	売上収益					
	23年度*				24年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	571	620	695	831	675	735
モビリティソリューション	1,274	1,339	1,371	1,456	1,439	1,531
ICTソリューション	630	619	685	660	538	562
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,566	1,540	1,726	1,767	1,808	1,742
その他の	38	40	31	38	35	35
合計	4,079	4,158	4,508	4,752	4,495	4,605

(単位：億円)

セグメント	コア営業利益					
	23年度*				24年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	45	67	73	115	58	102
モビリティソリューション	123	146	141	167	157	123
ICTソリューション	58	71	70	37	60	70
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	△ 10	△ 77	30	△ 59	40	△ 70
その他の	△ 7	4	△ 10	△ 22	△ 13	△ 7
合計	209	211	304	238	302	218

\*24年度より、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社のセグメントを見直しております。  
変更後の報告セグメントで区分した四半期別の23年度の売上収益/コア営業利益となります。

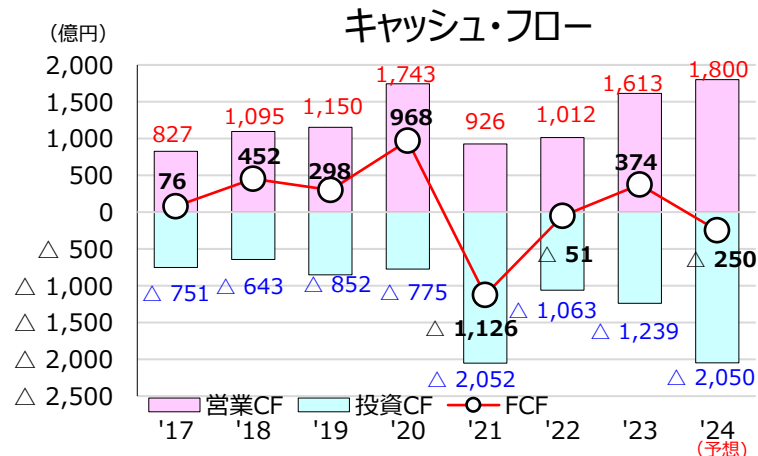
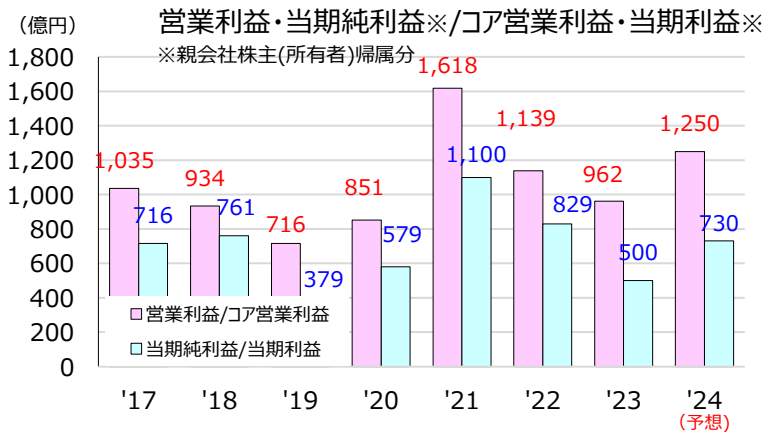
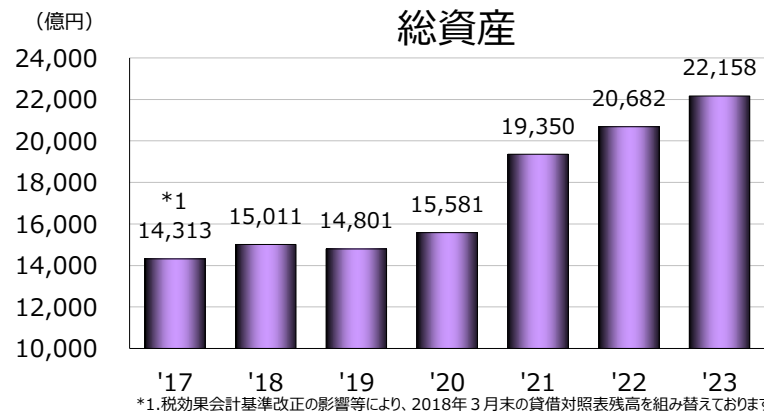
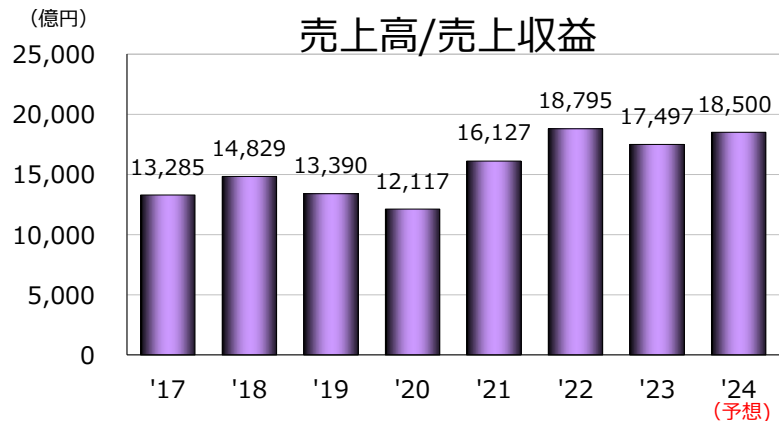
## 4) セグメント情報

セグメント*	事業分野	主な製品等
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料 (MR™、Do Green™)、 医療材料 (タウリン)、 不織布 (衛生材料、工業資材)、 オーラルケア材料 (充填材料、接着材料、デジタル機器)、 農薬 (ジノテフラン、テネベナール®)
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業、モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド (アドマー®、ミラストマー®、アーレン®)  
ICTソリューション	半導体・光学、コーティング機能材、機能性フィルム・シート、ICT材料事業推進室	三井ベリクル™ (DUV、EUV、FPD)、アペル®、TPX®、半導体用ガス、 高機能食品包装材料 (シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材)、 産業用フィルム (イクロステープ™、SP-PET™)
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、インダストリアルケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤 (アドブルー®*)、 ポリオレフィン、TDI、MDI  *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

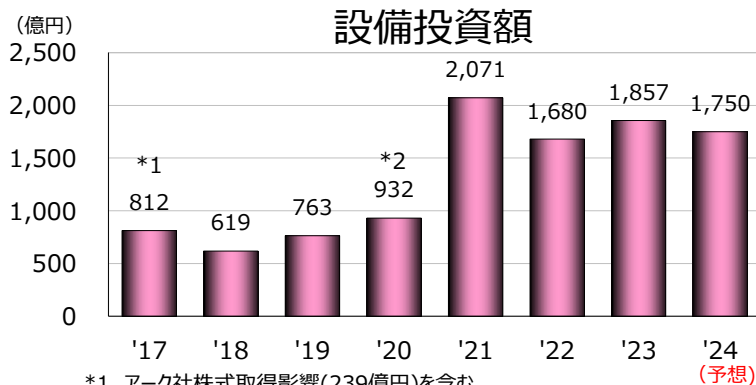


# 5-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

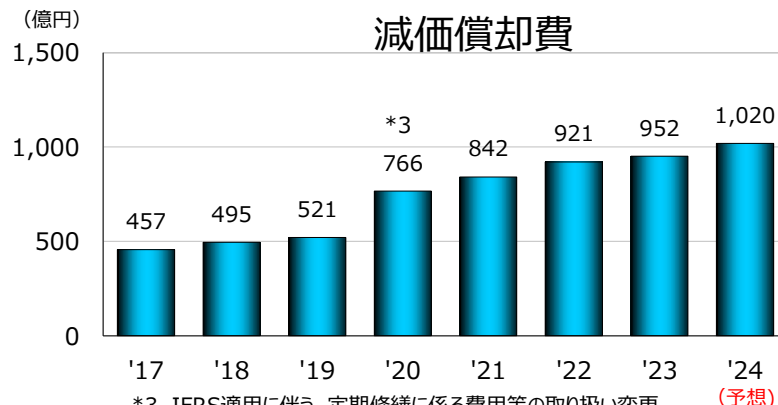


注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

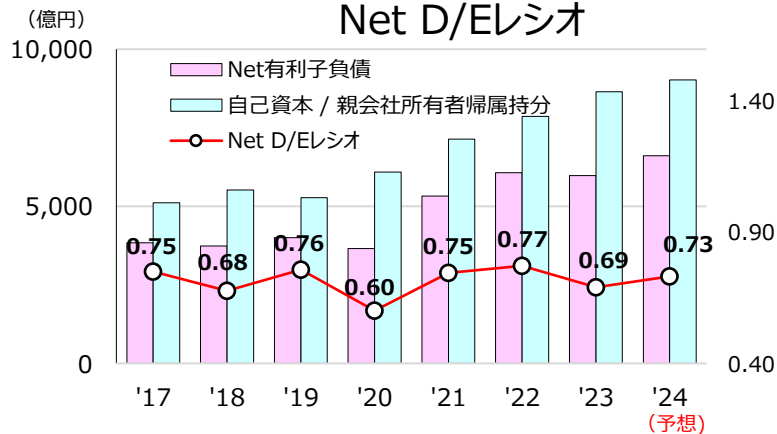
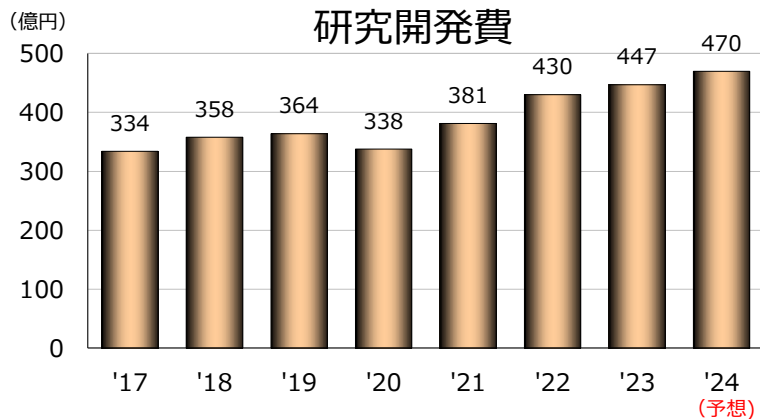


\*1. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

\*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む



\*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

*Challenge Diversity One Team*